

開発課創設に伴う特許情報活用力のスキル向上支援

支援前

ADの支援

支援後

< 開発課を創設 >
 先行技術を収集し部署内で情報共有したいが・・・

特許電子図書館 (IPDL) の利用方法に慣れていない

キーワードに頼った特許検索を行っている

発明の進歩性の考え方の理解が進まず、検索すべき範囲の想定が困難

ノウハウとすべき技術、特許とすべき技術の一般的説明

特許電子図書館 (IPDL) を用いた先行技術調査の支援

参加者が準備した文献や特許検索ポータルサイトを利用した検索実習

特許分類の技術観点抽出に基づく検索の支援

発明の進歩性判断を考慮した特許検索範囲の説明

特許分類アレルギーがなくなり、特許分類検索も活用できるようになった

キーワードに頼った特許検索リスクを理解できた

公報だけでなく審査文献や拒絶理由通知書などを収集して審査内容を把握できるようになった

他社先行技術の調査効率・精度が向上！
 開発業務に活用！

支援先企業担当者からの一言

このたびの特許・知財に関する講習会に関しては、月1回ペースで合計8回の来社講習を頂き誠にありがとうございました。特許に関する知識、特に検索に関してはほぼ理解できました。

今後、事業に役立ててまいります。特許に関しては、まだまだ勉強しなければならない事がありますので、今後とも御指導よろしくお願ひ申し上げます。

(R&D/QC室 開発課次長 大沼 孝)

支援先企業の概要

会社名 林精器製造株式会社
 代表取締役 林 明博
 医療機器製造業許可 07BZ200024

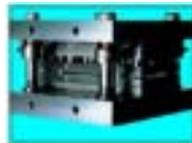
所在地 福島県須賀川市
 ISO14001・ISO9001 認証

設立 1921年 資本金 9,000万円

ホームページ <http://www.hayashiseiki.co.jp>



ウォッチケース事業



金型・治工具事業



めっき・表面処理事業



F A機器・パーツ事業

鈴木 優 (福島県知的所有権センター) 特許情報活用支援アドバイザーの一言

林精器製造株式会社は「ウォッチケース」で培ってきた技術をベースに4事業を展開し、宝飾レベルの品質が求められる時計ケースから先端メカトロニクスまでの幅広い分野に機器や部品を提供しています。以前にも事業所単位でミニ講習会を開催したことがあったのですが、開発課の創設を機にスキルアップ講習会を開催することになりました。

講習会では理解度に応じて同じ内容を復習したり、違う見方ができないか一緒に考える時間を設けるなどして、エンジニア自らが特許情報を活用できるようになることを目標としました。

今後は他社技術動向を注視しつつ、特許取得による事業強化に取り組まれるとのことでした。



平成22年8月現在